

# 【10】クルマ社会の問題についての子どもたちの認識度

(10)クルマの増加に伴う問題についての子どもの認識度(D群:小学生・D'群:心身ハンディ児への質問)

**質問** 車が多すぎると交通事故でたくさんの人が亡くなったりけがをしたり、空気がよごれたりします。そのことを知っていますか。(あてはまるものを)  
 1:よく知っている 2:あまり知らなかった 3:ぜんぜん知らなかった 4:興味がない

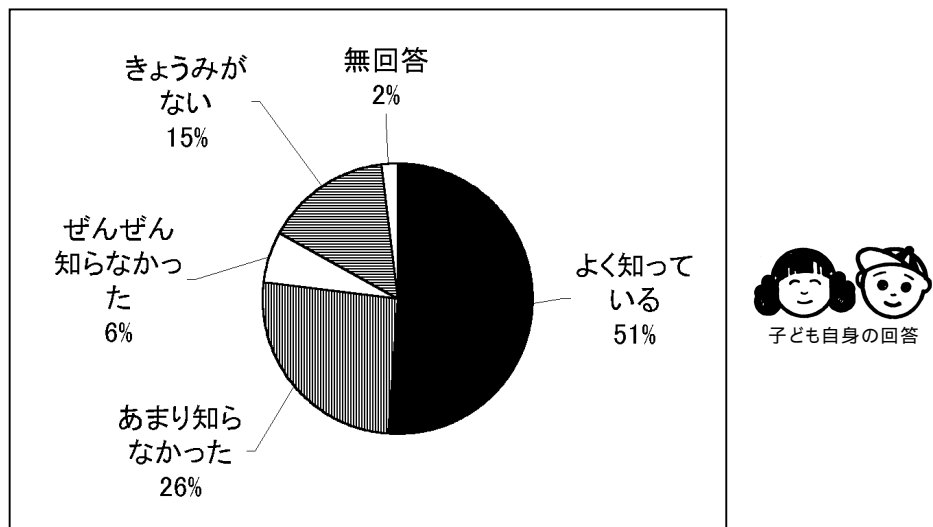
## ... 交通事故や大気汚染の問題、よく知っている子は約半数 ...

クルマの増加によって生じる事故被害や大気汚染などについての、子どもの認識度は、「よく知っている」が約半数だった。ただ、小学生の回答を学年別に見ると、高学年ほど認識率が高い。これは4～5年生の社会科で交通事故災害や環境問題を多少なりとも学ぶためだろう。とはいえ、5～6年生でも「よく知ってい

る」のは6割程度で、きわめて身近で深刻な人災の割りには認識度は高くはない。

学校では交通安全教育はくり返し行なわれ、一部の高校ではドライバー予備軍としての教育も進みつつあるが、現状の問題点について考える教育も、これからの時代を担う子どもたちには重要ではないだろうか。

(図10-A)クルマが増えすぎるこの問題についての子どもの認識度(D群とD'群の回答合計)



(図10-B)クルマが増えすぎるこの問題についての小学生の学年別の認識度(D群:小学生の回答より)

